

## 新幹線関連設備の警防調査を実施

西宮市消防局

西宮市消防局では平成27年9月3日に西日本旅客鉄道株式会社（JR西日本）と合同で、市内を横断する新幹線において事故が発生した場合を想定し、警防調査を行いました。

普段は立入ることができない、新幹線のトンネルに入り、設備や消防隊進入口等の再確認を行いました。

警防調査の最後にJR西日本から新幹線の運行状況や線路等の設備について説明を受け、意見交換を行いました。

安全かつ迅速に活動できるよう、関係機関と調整し体制を整備していきます。



## 救急フェアを開催しました

奈良市消防局

奈良市消防局は9月12日、JR西日本あんしん社会財団及び西日本旅客鉄道株式会社との共催で救急フェアを開催しました。会場のJR奈良駅前ではJR西日本職員の応急手当普及員が心肺蘇生法・AED体験ブースで乗降客や市民へ熱心に指導を行いました。また、奈良市消防団は応急手当の手順を体操に取り入れた「やまとなでしこ体操」や寸劇等、工夫を凝らした広報を実施しました。当日は外国からの観光客の姿も多くみられ、国際文化観光都市・奈良市ならではのイベントとなりました。



消防通信

望

楼

ぼうろう

“命”の尊さを実感！  
分娩介助実習

行田市消防本部

行田市消防本部は9月10日、「救急の日」の職員研修として、県内施設から助産師を講師として招き、分娩介助実習を実施しました。

この研修は、「周産期救急における基礎知識」をテーマとした講義に始まり、分娩トレーナーを使用した分娩介助基礎実習、救急現場を想定したシミュレーション訓練が行われました。

参加者は、助産師の直接指導により産科領域の処置を習得するとともに、救急隊員としての責任の重さと、命の尊さを改めて実感できた研修となりました。



## 平成27年度国際消防救助隊訓練開催

湖南広域消防局

湖南広域消防局では、平成27年9月18日に北消防署出張所の震災救助仮設訓練施設において、「平成27年度国際消防救助隊訓練」を実施しました。

この訓練は、活動時間が5時間を超える長時間救助活動訓練であることと併せて、狭隘空間での救助活動、視界不良となる夜間活動など特殊な環境下で訓練を展開することにより、活動隊員の肉体面、精神面の強化と、大規模災害への対処能力の向上を目的に実施しました。

今後も訓練を継続し、活動能力の向上に努めていきます。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】